

基本方針	課題	対応	方針	措置	概要	具体的事業	事業内容	(取り組み主体)					(事業の実施期間)							
								行政	文化財所有者	住民関係団体	有識者専門家	事業者	新規事業	前期(4年間)	後期(4年間)					
4 文化財が継承される仕組みを作る	社会環境の変化による文化財の担い手不足や、保存に関わる専門人材の不足、文化財の保存に必要な資金・資材の不足が生じている。	担い手づくりや保存体制の仕組みを構築し、文化財を次世代へ確実に継承する	3-3 持続可能な文化観光を推進する																	
			観光事業者と連携し、関連文化財群を基本として地域の歴史や文化を活かした持続性のある文化観光を推進する。	19	ガイド人材育成支援	文化財に通じた観光ガイド育成を支援し、来訪者の案内を充実させるとともに、観光ニーズの調査も実施する。	・文化財ガイド人材の育成及び、プロガイド養成の検討【新】	・関係団体と連携し文化財のガイドを担う人材の育成支援を行う ・長野市ガイド協会や其鐘の会との連携	○		◎	○	○	■						
				20	文化観光コンテンツの開発支援	歴史・文化、アクティビティ等の地域資源を活用し、観光客に訴求する体験型観光コンテンツの開発を支援する	・文化財を活用した体験型観光コンテンツ(ツアー、クイズラリー、食文化体験など)の開発支援 ・市内文化財周遊促進のための観光ルートやガイドマップの作成支援	・ガイド協会案内と精進料理ツアー ・山城ツアー、古戦場クイズ ・真田邸でお弁当などのコンテンツを支援する ・フットパスコース、eバイクコースとの連携(鬼無里ふるさと資料館) ・ジオサイト(市内の特異な地形・地質等が観察できるポイント)の周遊【新】	◎	○	○	○								
				21	文化財の磨き上げ	市民や観光客が文化財の魅力を感じられるよう、文化財の付加価値を高めて観光資源としての磨き上げを図る	・歴史文化や景観、伝統工芸の保存に寄与する活動の観光コンテンツ化 ・保存につながる文化財活用の促進	・茅刈り体験など、文化財の保存に必要な材料調達活動を体験型の観光コンテンツとして取り込む ・絵解きの口演や歴史的建造物を舞台とした公演といったコンテンツの開発の支援をする	◎		◎		○							
			3-4 文化財を活かした歴史まちづくりを推進する																	
			文化財を活かして地域の魅力を高めるための歴史まちづくりを推進する。	22	文化財を軸としたまちづくり推進	地域の魅力である文化財を核とした整備を推進し、地域らしさを活用したまちづくりを行う	・地域団体等と連携した文化財を軸としたまちづくり【新】 ・文化財を核にした整備の推進	文化財に関するいろいろな立場の人たちが話し合う場を設定し、そこから生まれた文化財を活用した様々な事業を展開することで地域を活性化させる 文化財をサービス提供施設として捉えた整備(大室古墳群アクセス道路整備事業)	◎		○	○	○	■						
				23	歴史的まちなみ景観整備	歴史的建造物の修理や周辺建物の修景、道路の無電柱化や美装化など地域の魅力を高めるための事業を実施する	・伝統的建造物群保存地区等での歴史的まちなみの保存整備 ・無電柱化、道路美装化による歴史的景観整備	・伝統環境保存事業 ・景観重要建造物修理助成事業 ・歴史的風致形成建造物修理助成事業 ・無電柱化、道路美装化事業	◎											
			3-5 文化施設の持続可能な活用マネジメント																	
			歴史文化を伝える場として、文化施設のより一層の活用を図る。	24	連携等による施設の活性化	市内文化施設について、教育機関としての機能と観光施設としての機能を両立させ、各施設や地域との連携を深めることで、より質の高いサービスを提供する	・博物館等文化施設と観光施設及び地域との連携推進【新】	・博物館再編基本計画策定事業【新】 ・鬼無里、戸隠と連携した鬼女紅葉のPR(鬼無里ふるさと資料館) ・真田宝物館建て替えの検討【新】 ・戸隠地質化石博物館とそば博物館との連携強化【新】	◎			○	○	■						
			4-1 文化財の担い手を育成	歴史文化を次世代に引き継ぐため、地域一体となって後継者の育成を図る。地域における伝統芸能の伝承事業への支援を行う。	25	伝統芸能の継承支援	伝統芸能や伝統文化を次世代に継承するため、後継者や指導者の育成を支援する。また、次世代の担い手となる子供たちを含め、多くの市民が伝統芸能に触れられる機会を提供する	・補助による伝統芸能団体の活動や用具の修理等の支援 ・伝統芸能発表の機会の提供	・伝統芸能団体の活動や用具の修理等に対し補助金を交付する ・伝統芸能こどもフェスティバルの開催 ・ながの獅子舞フェスティバルの開催	◎		○								
					26	伝統工芸の継承支援	伝統的な職人の技術を有し、技術の保存、継承、業界の振興発展に寄与する人材の育成について支援を行う	・伝統工芸継承支援	・戸隠竹細工芸継承支援	◎		○								
					27	文化財に携わる人材の確保	今後も増加する多種多様な文化財を保存活用していく人材の確保に努める	・文化財の担い手となる市民、団体の育成【新】 ・文化財に携わる職人育成の支援【新】	・教員向けの地域の歴史や文化財の研修等、文化財の担い手となる市民、団体の育成 ・文化財を支える職人に焦点を当てた、SNS等による情報発信	◎		○	○		■					
				4-2 文化財の継承に必要な資金・資材調達の仕組みをつくる																
				文化財を継承していくために必要な資金や資材を調達するための仕組みを構築する。	28	文化財保護のための資金調達	ふるさと納税など様々な制度を活用し、文化財保護のための安定的な資金調達を図る	・ふるさと納税等寄付金による資金調達	・ふるさと納税活用による史跡整備、竹細工調査事業など、その魅力で資金調達ができるほどに文化財の磨き上げを行う	◎	○	○								
29	文化財修理のための支援	文化財修理に関わる技術者との連携や、修理に必要な原材料の確保支援を通して、文化財修理事業の継続的な実施を図る			・文化財修理に関わる技術者の把握と連携【新】 ・文化財修理に必要な原材料の確保支援	・戸隠茅場整備事業	◎		○			■								
4-3 文化財の継承に必要な専門人材との連携を強化する																				
文化財の継承に必要な専門的スキルをもつ団体等との連携強化の仕組みをつくる。	30	文化財保存活用支援団体との連携推進	専門的なスキルを有する団体を積極的に支援団体として指定し、パートナーシップを結ぶことで官民一体となって文化財の保存・活用を図る	・文化財の保存活用に関わる団体(文化財保護協会・ハリーテージマネージャー協議会、信州資料ネット等)との連携強化 ・歴史的建築物の活用ノウハウを有した企業との連携	・文化財保護協会との連携 ・ハリーテージマネージャーとの連携 ・ながはくパートナーの育成・連携(信州資料ネットとの連携) ・歴史的建築物の活用ノウハウを有した民間企業との連携	◎		◎	○	○										